

※実際のまちを歩いて施設や道路などの利用のしやすさの実態を調べます。

## ■ 第2回ワークショップ・まち歩き調査を企画しよう（実行委員会）

第1回ワークショップで明らかになった主要な利用施設や移動経路等を、テーマにそって利用者の視点で実際に対象地域内を歩き、各施設を利用して調査します。

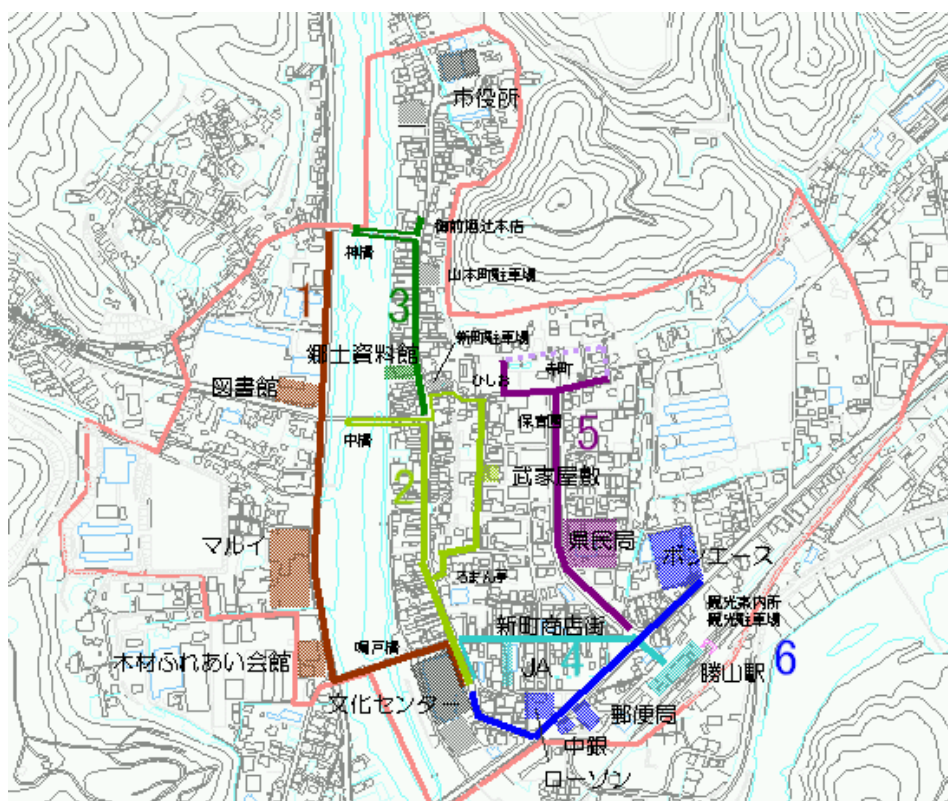
「安全・使いやすさ」「わかりやすさ」「心地よさ・おもてなし」というUDの3つの視点を基本に、それぞれ担当エリアの移動経路、施設、店舗、車いす用トイレ、公衆トイレ、移動拠点（駐車場等）の実態調査を行い、評価します。地図や調査票の記入、写真撮影によって現状の記録を行います。

### ①調査範囲や内容の決定

第1回ワークショップで抽出された「よく利用される施設」及び「よく利用される経路」を中心に、対象地域をエリア分けし、各グループの担当エリアを決めます。

まち歩きは約1時間～1時間半程度で終わられるように、距離や調査する施設数等、調査のボリュームを考えて、エリアの調整をします。

真庭市勝山エリアでの調査エリア分け（6区域）の例



### 3. まちの利用性能を調べる（第2回ワークショップ）

#### ②チェックシートの作成

参加者がまちを歩きながら、こういった視点で点検すればよいかをまとめて、移動経路や施設、トイレ、店舗、駐車場等の現状を記録するためチェックシートをつくりまします。チェックした内容や測定した数値ができるだけ簡単に記録できるように構成を考えましよう。

#### チェックシートの種類と調査項目

移動経路	<input type="checkbox"/> 移動のしやすさ（段差・路面・障害物の有無） <input type="checkbox"/> わかりやすさ(案内表示) <input type="checkbox"/> 心地よさ（トイレや休憩場所） など
施設調査票	<input type="checkbox"/> 入口までの案内表示 <input type="checkbox"/> 出入口の通りやすさ（段差、幅、扉など） <input type="checkbox"/> 施設内の使いやすさ（廊下の幅、昇降機など） <input type="checkbox"/> 施設内のわかりやすさ（案内表示） <input type="checkbox"/> 施設内の心地よさ（トイレや休憩場所） など
トイレ調査票	トイレ全般（男子トイレ・女子トイレ・多目的トイレ） <input type="checkbox"/> トイレの使いやすさ（配置、設備、入口段差） <input type="checkbox"/> トイレのわかりやすさ（案内表示、サイン） <input type="checkbox"/> トイレの心地よさ（休憩場所・明るさ・清掃） など
	多目的トイレ <input type="checkbox"/> 出入口の幅 <input type="checkbox"/> 便所の形式（片側型、斜め型、中央型、小型 他） <input type="checkbox"/> 使いやすさ（扉、手すり、便座の高さ、荷物置き他） など
店舗調査票	<input type="checkbox"/> 店舗の出入口（段差、幅、扉） <input type="checkbox"/> 店舗内の使いやすさ（スペースなど）
駐車場など	<input type="checkbox"/> 障害者用駐車スペース <input type="checkbox"/> 最寄りの観光地への案内図 など

※ 調査票のほかに、調査範囲の詳しい地図（住宅地図等）を用意し、チェックした箇所に印や番号を書き込むことができるように準備ましよう。



### ③まち歩き調査の日時の決定

できるだけ地域の皆さんが参加しやすい曜日や時間を確認し、事前に調整しましょう。より多くの人に参加してもらうため、曜日や時間帯を変えて何回か開催するとより良いでしょう。

### ④参加人数の確認

地域の規模や調査範囲などから参加人数を想定しましょう。  
第1回ワークショップの参加者中心に参加の呼びかけを行い、出欠の確認をします。幅広い意見を聞くため、性別や年代、属性などが偏らないように気をつけましょう。

### ⑤会場の手配

調査についての全体説明や調査終了後のまとめ作業を行うための会場を手配しましょう。調査エリア内にある施設で、車いすの人等、参加者が利用しやすい設備であることなども注意し、会場を予約します。

### ⑥地図の用意

調査中に持ち歩き書き込みをするための地図と、調査終了後のまとめ作業で使用する地図をそれぞれ用意します。「住宅地図」や「都市計画図」等、必要に応じて地図の種類や縮尺などを選択しましょう。

#### A. まち歩き調査中に書き込むための地図

各グループが担当するエリアの詳細な地図（住宅地図等）をそれぞれ用意します。地図の大きさはA4～A3サイズ程度がよいでしょう。  
1グループに1～2枚程度用意し、画板にセットしておきます。

#### B. 調査終了後にまとめ作業をするための地図

都市計画図など、各グループ1枚用意します。  
地図の大きさは、グループで囲んで作業がしやすいように、A1～A0程度を目安とします。

### 3. まちの利用性能を調べる（第2回ワークショップ）

#### ⑦道具（筆記用具など）の手配

まち歩き調査やまとめ作業に必要な筆記用具や道具を準備しましょう。

##### ■まち歩き用準備物

- ・画板（A3サイズ及びA4サイズ）
- ・コンバックス・スケール
- ・デジタルカメラ
- ・ボールペン、シャープペン、蛍光ペン
- ・ふせん
- ・名札

##### ■会場作業用

- ・水性マーカー（多色セット）
- ・サインペン
- ・はさみ
- ・セロハンテープ



#### ⑧調査先への連絡

調査の対象となる施設や店舗へ事前に連絡をします。調査の趣旨、日時を伝え、了解をとっておきましょう。念のため先方の担当者名も聞いておきましょう。

商店街等の場合は、商店街の組合の代表者等に相談するとよいでしょう。

#### ⑨その他の手配

可能ならば、各グループに1台車いすを用意しましょう。公共施設、社会福祉協議会などで借りることができるので問い合わせしてみましょう。また、調査前に車いすの使い方について説明があるとより良いでしょう。その他にも、乳母車や白内障による色覚変化が体験できるメガネ等、疑似体験セットも用意するとよいでしょう（疑似体験セットを使う場合は、必ずペアになって体験し、事故のないよう十分な注意が必要です）。

また、参加者数、日時、場所が決まったら、ボランティア活動保険の加入手続きを行います（県や市町村の社会福祉協議会で加入手続きが可能）。

#### ⑩スタッフの役割分担

スタッフは全体の進行役1名、各グループにまとめ役のリーダー及びサブリーダー1～2名を配置します。調査は各グループのリーダーの先導で進めます。リーダーは安全確認や時間配分などに注意しましょう。また、調査前に車いすの操作方法などを説明するスタッフや、会場に待機し緊急時の対応や連絡調整をするスタッフ（1～2名）などいるとよいでしょう。

## ■ 第2回ワークショップ・まち歩き調査を実施しよう

ふだん何気なく歩いているまちを、少し注意しながら利用者の目線で見ていきます。

### スケジュール例

〔1グループ10名×6組の場合〕

- 12:45 受付開始
- 13:00 開会・説明
- 13:30 まち歩き調査の実施
- 15:30 10分休憩
- 15:40 資料整理
- 16:20 閉会・解散

### ①グループ分け

1グループ6～10名程度になるように、あらかじめグループ分けをしておきます。グループ内に多様なメンバーが配置されるよう、年代や性別など偏りがないように注意しましょう。

### ②グループ内の役割分担

参加者全員が積極的に取り組めるように、まち歩きにでる前に、グループ内で役割分担を決めておきます。カメラで撮影する係や地図に記入する係、段差や幅員等を計測する係など、作業の分担を行います。

各自がどのような視点で調査するか、「高齢者」「子ども連れ」「観光客」など、役割を話し合って決めます。まち歩き調査では、それぞれの役柄の目線で調査を行います。

#### グループ内の作業係

- ・リーダー（案内役のスタッフ）
- ・地図記入係
- ・調査用紙記録係
- ・カメラ撮影係
- ・計測係

#### 利用者の役柄

- ・高齢者
- ・車いす
- ・子ども・子ども連れ
- ・観光客等

#### グループ内での役割分担の例

役割	ふせん	担当者名
高齢者	緑	〇〇
車いす	水	□□
車いす以外の障害者	青	△△・☆☆
子ども・子ども連れ	ピンク	◎◎
観光客（日本人・外国人）	黄	* *
その他・全般	オレンジ	全員



### 3. まちの利用性能を調べる（第2回ワークショップ）

#### ③まち歩き調査の実施

グループごとに設定されたエリアのまち歩き調査を行います。

各自の役柄の目線でまちを見て、「使いやすさ」「わかりやすさ」「ここちよさ」について感じたこと・気づいたこと、良いと思った点や気になる点等を各自“ふせん”に自由に記述していきます。

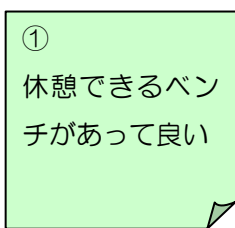
調査シートは各項目のチェック及び測定を行うための基礎資料です。個人個人の感じ方にはばらつきがあるので、まちあるきでの目線を合わせるために、各ポイントでこのチェックシートをメンバーに伝えながら、感じ方の基準を共有します。

指摘箇所や気になる点は、デジカメでの写真撮影やスケッチを行います。

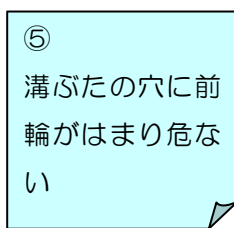
グループ内での役割分担の例

役割	ふせん	担当者名
高齢者	緑	〇〇
車いす	水	□□
車いす以外の障害者	青	△△・☆☆
子ども・子ども連れ	ピンク	◎◎
観光客（日本人・外国人）	黄	**
その他・全般	オレンジ	全員

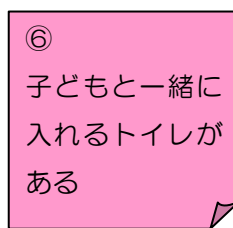
～ ふせんの書き方例 ～



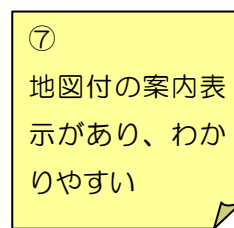
高齢者  
(緑のふせん)



車いす  
(水色のふせん)



子ども連れ  
(ピンクのふせん)



観光客  
(黄色のふせん)

※「高齢者」「車いす」「子ども・子ども連れ」などそれぞれの役柄によって“ふせん”の色を変えておくと、立場によってどんな工夫が必要なのかが分かりやすくなります。

### 3. まちの利用性能を調べる（第2回ワークショップ）

#### 調査シートの例（施設）

真直市勝山地区UDまちづくり まち歩き調査シート【施設編】			
調査班	リーダー名	調査日	年 月 日
施設名	※あらかじめ施設名を入れておく		
※評価は記入不要			
外～施設内	調査内容	説明・コメント	写真 評価
外部 入口	施設入口までの案内表示 <input type="checkbox"/> 案内表示がなくてもすぐ入口がわかる <input type="checkbox"/> 案内表示があり、入口がわかりやすい <input type="checkbox"/> 案内表示があるが、入口がわかりにくい <input type="checkbox"/> 案内表示がなく、入口がわかりにくい		
	通路幅員 _____ cm <input type="checkbox"/> 車いすが楽に通行できる <input type="checkbox"/> 車いすがなんとか通行できる <input type="checkbox"/> 車いすが通行できない		
	点字ブロック <input type="checkbox"/> 入口まで誘導ブロックが敷設されている。 <input type="checkbox"/> 注意喚起ブロックが敷設されている。 <input type="checkbox"/> 誘導ブロック・注意喚起ブロックはない		
出入口	階段 <input type="checkbox"/> 階段なし <input type="checkbox"/> 階段あり 一段( )cm × ( )段		
	出入口段差 _____ cm		
	スロープ勾配 勾配 _____ / <input type="checkbox"/> 車いすが自力で楽に通行できる <input type="checkbox"/> 車いすが自力でなんとか通行できる <input type="checkbox"/> 介助があれば車いすが通行できる <input type="checkbox"/> スロープなし		
	出入口幅員 _____ cm		
施設内	案内表示 <input type="checkbox"/> 館内についてわかりやすい案内板がある <input type="checkbox"/> 受付や案内所があり、人的対応が可能 <input type="checkbox"/> 音声案内装置がある <input type="checkbox"/> 館内の案内情報なし		
	廊下の幅員 _____ cm <input type="checkbox"/> 車いすが楽に通行できる <input type="checkbox"/> 車いすがなんとか通行できる <input type="checkbox"/> 車いすが通行できない		
	昇降機 <input type="checkbox"/> 車いすですぐ使えるエレベーターあり <input type="checkbox"/> 車いすでなんとか使えるエレベーターあり <input type="checkbox"/> エレベーターなし(階段のみ)		
	休憩場所 <input type="checkbox"/> 車いす利用者と休憩できる場所がある <input type="checkbox"/> 開放感のある休憩所がある <input type="checkbox"/> いすやベンチが設置されている <input type="checkbox"/> いすやベンチはない		
	清潔感 <input type="checkbox"/> 清掃が行き届いていて心地よく利用できる <input type="checkbox"/> 特に問題なく利用できる <input type="checkbox"/> 問題あり		
	明るさ <input type="checkbox"/> 適度な明るさが確保されている <input type="checkbox"/> 暗い		
その他 良いと思った事、 気づいた事など			

#### 調査シートの例（トイレ）

トイレ	詳細・コメント	写真 評価
トイレの配置 <input type="checkbox"/> 建物の各階にトイレがある <input type="checkbox"/> 建物の一階にトイレがある <input type="checkbox"/> 建物の( )階にトイレがある	計 箇所	
施設内のトイレ案内表示 <input type="checkbox"/> 案内表示があり、通路からトイレ位置がすぐわかる <input type="checkbox"/> 案内表示はあるが、わかりにくい <input type="checkbox"/> 案内表示がなく、トイレ位置がわからない <input type="checkbox"/> その他		
トイレ種類 <input type="checkbox"/> 一般的な男子トイレ及び女子トイレがある <input type="checkbox"/> 子ども連れで利用可能な設備がある(おむつ交換台等) <input type="checkbox"/> 車いすで利用可能なトイレがある <input type="checkbox"/> オストメイト対応のトイレがある		
トイレのサイン <input type="checkbox"/> 文字と絵(ピクトグラム)で表示されたサインがある <input type="checkbox"/> 文字のみ <input type="checkbox"/> ピクトグラムのみ <input type="checkbox"/> 点字表示がある <input type="checkbox"/> 男子トイレ・女子トイレの判別がしやすい		
休憩場所 <input type="checkbox"/> トイレの近くにベンチなど休憩できるスペースがある <input type="checkbox"/> 特になし		
清掃状況 <input type="checkbox"/> 清掃が行き届いて気持ちよく利用できる <input type="checkbox"/> 利用するのになんか問題はない <input type="checkbox"/> 問題あり		
明るさ <input type="checkbox"/> 適度な明るさが確保されている <input type="checkbox"/> 問題あり		
男女トイレ	入口段差 <input type="checkbox"/> 段差・階段はない <input type="checkbox"/> 段差あり( )cm <input type="checkbox"/> 階段あり( )cm × ( )段	
洋式トイレの有無 <input type="checkbox"/> 男子トイレ( )室 <input type="checkbox"/> 女子トイレ( )室		
車いすトイレ	入口有効幅員 _____ cm 袖壁 _____ cm	
	便房内法 ( )cm × ( )cm	
	便房形式 A. 片側型 B. 斜め型 C. 中央型 D. 小型 E. その他	
	評価: 車いす利用者が 単独で楽に使用可◎、単独でなんとか使用可○、介助があれば使用可△、故障など使用不可×	
チェック項目	評価	コメント欄(気になる点や評価のポイントとなった点など記入)
扉の開閉		
便器へのアプローチ		
便座高さ		
紙巻器		
非常ボタン		
鍵の操作		
方向転換		
手すり位置		
洗浄ボタン		
照明スイッチ		
その他 良いと思った事、 気づいた事など		

### 3. まちの利用性能を調べる（第2回ワークショップ）

#### ～ 調査内容と“ふせん”記述例 ～

<p><b>【移動経路編】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行き先表示の案内がない</li> <li>・車の交通量が多い</li> <li>・傾斜が長く、途中休憩ができない</li> <li>・公衆トイレがない</li> </ul> <p>など</p> <p>* 「段差」「路面」「障害物の有無」「階段」「坂道」「案内表示」「トイレ」「休憩」等についてチェックします。</p>	
<p><b>【施設編】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープが急勾配である</li> <li>・カウンターが低く、開放的で親しみやすい</li> <li>・観光客のための休憩スペースが設けられている</li> <li>・館内の階段に手すりがない</li> </ul> <p>など</p> <p>* 施設内は、道路からのアプローチ、玄関からトイレまでを基本に調査します。</p>	
<p><b>【トイレ編】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外観を町並みの雰囲気に合わせていてよい</li> <li>・便器までの移動手すりがない</li> <li>・荷物置き場やコート掛けがない</li> </ul> <p>など</p> <p>* 公衆トイレと各施設のトイレについて、車いすでも利用可能か、手すり等の位置、便房の形式等をチェックします。</p>	
<p><b>【店舗編】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープと自動ドアがあり入りやすい</li> <li>・店先にベンチやいすを設置していて、休憩に利用できる</li> <li>・扉が自動ではないが木製なので軽くて開けやすい</li> </ul> <p>など</p> <p>* 商店街の店舗を外から見て、車いすの入りやすさの評価を行います。マップに○△×で記入します。</p>	
<p><b>【移動拠点・駐車場編】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者用の駐車スペースがない</li> <li>・トイレや観光案内図がある</li> <li>・観光用駐車場と月極駐車場とがわかりにくい</li> </ul> <p>など</p> <p>* 駅や駐車場について、トイレ、休憩施設、障害者用駐車場等の有無、スロープやトイレまでのアプローチ、サイン、案内板などを調査します。</p>	



#### ④まち歩き調査の整理

まち歩き調査が終わったら、グループごとに資料整理を行います。調査シートの未記入部分を埋め、調査状況を整理します。写真撮影した箇所がわかるように地図や調査票に記録をしておきましょう。

また、ポイントごとに出た意見（ふせん）をまとめ大きな地図に貼り付けます。ふせんに書かれた意見が地図上のどの場所を示しているのかわかるように、地図上の番号とふせんの番号に間違いや記入漏れが無いかわかり確認しましょう。またふせんが剥がれ落ちないように、テープで固定しましょう。



### 3. まちの利用性能を調べる（第2回ワークショップ）

#### ⑤調査結果シートの作成

調査終了後、グループのリーダーやサブリーダーが中心になり、調査で指摘のあった事項や写真を整理した調査結果シートを作成します。

「高齢者」「観光客」「車いす」「障害者」「子ども」「その他・全般」等、目線ごとにどのような点がよかったか、あるいは気になったか等、整理します。

また、どの場所についての意見なのかをすぐわかるように、ポイントごとに「図上番号」をふり、地図とあわせて整理します。さらに指摘箇所を撮影した写真も表示し、調査に参加していない人が見てもわかりやすいようにまとめましょう。

提案欄には「こうすれば改善できそう」というアイデアを記入しておくといいでしょう。

調査結果シートの記入例

図上番号 場所	写真及び撮影箇所の説明	目線	気づいたこと・指摘のあったこと	提案
⑤	 <p>ろまん亭のトイレ</p>	高齢者	手すりがない	
		観光客	清潔・明るくてよい	
		車いす	手洗い所が車いすで対応ではない	
		障害者	入口が引き戸でよい	
		子ども	補助者が必要	
		その他 全般		
⑤ ⑥	 <p>秋葉坂の石段</p>	高齢者	転落防止柵はあるが、手すりがない	
		観光客		
		車いす	自力では通行できない	
		障害者		
		子ども		
		その他 全般	階段の踏面が玉石で滑りやすい	
⑤ ⑥	 <p>町並み保存地区の店舗(もりもと酒店)</p>	高齢者		
		観光客		
		車いす	スロープ・自動ドアがあってよい	
		障害者		
		子ども		
		その他 全般		